

## ◆職員の採用試験及び追加募集

職員の採用については、定員管理計画に基づき削減を図りながら実施してきているところですが、来年度は、初級の一

## ◆畜産について

肥育牛は計画の56頭に対し、52頭の出荷となっています。講師については、29頭の計画に対し、33頭の出荷がありました。出荷頭数は計画通りですので、肥育、子牛とも販売単価の回復が望まれます。

## ◆畑作の生産状況について

ネギは昨年の4.05haから2.86haに減少したことなどから、11月末での売上は、13,729千円で、計画の88.3%となっています。夏秋トマトは、気温の上昇により生産量が減少しましたが、単価が下がらなかったことから、販売額は1,145千円と計画を3.8%上回りました。廃ブロッコリーのまいたけは、気温が高かったことにより、発生が鈍ったことから発生が悪く、単価も昨年を下回り、販売額は5,071千円と昨年の75%に止まりました。2年目の出荷を迎えたり、ほうろくは、採花面積が83a、採花本数が167,100本で、販売単価に恵まれたことから、9,874千円の売り上げがありました。10a当たりの売上は、1,180千円程となっています。この後ヤマウドの生産が始まります。栽培面積は昨年の2分の1の6.5haに止まっていますが、昨年を上回る単価を期待しています。

## 一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ7,086万9千円を増額し、予算総額を35億3,655万



### ○監査委員

- ・加茂谷芳文さん（川反町・新任）

### ○監査委員の選任について

町監査委員2名のうち、民間から選任されている委員1名が、12月24日をもって任期満了となるため、地方自治法の規定により委員を選任することについて異議なく了承

### ○地デジ難視対策により設置された銅管柱敷地（町有財産）の無償貸付を提案

支給等に関する条例の一部を改正

### ○関係法律の改正に伴い、災害弔慰金の

般職3名の採用を予定しており、秋田県町村会による全県統一次試験から9名の受験者のうち4名を選抜、10月26日の二次試験により2名の合格者を決定しています。この結果、予定採用人員に達していないため、今後追加募集を図り、再度採用試験を行うこととしています。

## 主な議案内容

## 主な一般会計補正予算

（単位：千円）

### 歳入

|           |        |
|-----------|--------|
| たばこ税      | 3,000  |
| 民生使用料     | 1,189  |
| 民生費県補助金   | 12,323 |
| 財政調整基金繰入金 | 24,444 |

### 歳出

|                       |        |
|-----------------------|--------|
| 住基法改正対応業務(住基以外)委託料    | 6,097  |
| 立木購入費                 | 3,828  |
| システム導入事業委託料           | 6,930  |
| 地域支え合い体制づくり事業費補助金     | 6,820  |
| 介護保険システム修正業務（補助）      | 3,990  |
| 子ども手当システム改修委託料        | 2,226  |
| 下水処理施設普及促進奨励金         | 19,200 |
| 道路除雪作業業務委託料           | 2,300  |
| 災害用移動式発電機購入費          | 1,575  |
| 学校給食センター建築予定地地質調査業務委託 | 1,127  |
| 災害復旧応急工事              | 3,000  |

9千円としました。

歳出については、総務費に住基法改正に伴う業務委託料、負担付き寄付の受納に伴う立木購入費を計上しています。民生費では、障害者自立支援事業や子ども手当など法律改正に伴うシステム改修経費、県の地域支え合い体制づくり事業のほか、国保・後期高齢者、両特別会計への繰出金等、衛生費には、下水処理施設普及促進奨励金、水道特別会計への繰出金を計上しています。

農林水産業費は、転作のねぎ、アスパラなど重点品目の単価の激変に対する支援、県内の転作率、格差是正に伴う交付金、町の農林水産業補助金等交付要綱による事業分を計上しています。商工費に

は、ツーリズム事業としての各種イベント参加経費、土木費には、防災行政無線購入経費、消防費には、災害用移動式発電機の購入経費をそれぞれ計上しています。

教育費には、学習指導要領の改訂に伴う指導書の整備経費のほか、学校給食センター予定地の地質調査経費、教育施設の維持修繕等を主に計上しています。

災害普及費では、復旧事業費の補助金のほか、林道前山滝の沢線の復旧工事費を計上しています。

関連する歳入予算のほか、これらの予算に伴う収支不足に対応するため、財政調整基金からの繰り入れを計上しています。